



2024-25年度 国際ロータリーのテーマ

HIROSHIMA KUKO Rotary Club Weekly-Report



会長 小島 勘次 副会長 岡田 雄幸 幹事 兼田 昌紀 SAA 松下 知美

広島空港ロータリークラブ

2024-25 2024年12月21日発行

事務局 三原市本郷南6丁目3-26 三原臨空商工会2F
TEL 0848-86-0986 FAX 0848-86-0992
E-mail h.kukorc@vega.ocn.ne.jp
例会場 広島エアポートホテル(TEL 0848-60-8111)

2710地区 上田文雄ガバナー 信条

行動しよう、未来のために。=変革に取り組もう=

本日のプログラム(12月21日)

クリスマス家族例会

次回のプログラム(12月25日)

年次総会

第1321回 2024年12月11日 例会記録

点 鐘 小島会長

国歌斉唱

ロータリーソング「四つのテスト」

新事務局員紹介

川本次年度会長より



新事務局員 陽奥千賀子さん



出席報告

	会員数 シニア会員	出席者	メイク	欠席 (免除)	出席率
本日 (12/11)	28 3	16	2	6 4	75.00
メイク	重森・住田				

食事時間



ベビー帆立とブロッコリーの彩りサラダ
レモンドレッシング

ミネストローネスープ

豚背ロース肉の低温ロースト
クミン香るキノコクリームソース
白菜のブレゼと共に

バケット

コーヒー

会長ひと言



皆さん、こんにちは。

本日は久しぶりの通常例会となりました。ここ数ヶ月を振り返りますと、まさに「走り切った」という言葉がぴったりです。

10月から始まったプレガバナー公式訪問、続いてガバナー公式訪問、3クラブ合同例会、そして空港フォーラム、さらには先日行われた竹原ロータリークラブ60周年記念式典と、怒涛のスケジュールで駆け抜けてまいりました。正直申し上げますと、もう「へろへろ」でございます(笑)。

一方で私個人の話になりますが、誕生日とともに水星逆行が始まり、何かとトラブルやすれ違いが続きました。しかし、先週の日曜日あたりから、ようやくトンネルを抜け出し、少しずつ調子が戻ってきたところです。

そんな中、先ほど記念日紹介でも触れましたが、私が経営するエムセックが12月14日で創立39年を迎えることとなりました。これもひとえに皆さまのお力添えのおかげであり、心より感謝申し上げます。

設立当時を少し振り返りますと、私はまだ幸陽船渠株式会社の社員で、造船業に携わっておりました。しかし、ちょうどその頃、IBMがパソコンを販売し始め、国内でも特約店制度が作られる時代でした。どうしてもパソコン販売やシステム販売がしたくなり、上司を説得し、当時の溝手社長よりご理解をいただき、新たな子会社として誕生したのが現在のエムセックです。

設立当初は、会社から与えられたカローラバン1台で、造船所に出勤してはそのまま営業に出かけるという、まさにゼロからのスタートでした。当時のお客様であるイズミさんや湧永製薬さんとは、今でもお取引が続いており、大変ありがたいと思っています。

そして、40年目に向けた新たなスタートが切れることに、今、改めて感謝と決意を感じております。これまで築いてきた歴史やご縁を大切にしながら、次の世代へと繋げていけるよう、努力し

てまいりたいと思います。

ロータリークラブにおいても同じです。過去の活動や支えてくださる仲間があってこそ、今の私たちがいます。皆さまと力を合わせ、これからも地域貢献と奉仕の精神を大切に、さらに活動を広げてまいりたいと思います。

年末が近づき、何かと忙しい時期ではございますが、どうぞ健康第一で、新たな年を笑顔で迎えられるよう願っております。本日もよろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

幹事報告



【本日の配布物】

- ・公式訪問フォーラムの報告書

【回覧】

- ・今後の例会出欠確認
- ・ロータリーの友12月号
- ・近隣クラブ例会変更
- ・広島空港RC ゴルフ同好会コンペ出欠確認
- ・IM出欠確認
- ・RYLA出欠確認
- ・三原社協てんゆう会様より令和7年カレンダーが届きましたので、ご入用の方は事務局までお知らせください。

【お知らせ】

- ・12月のロータリーレートは、1ドル150円です。
- ・本日例会終了後 12月理事会を開催いたしますので、理事、役員の皆様よろしく願います。
- ・クリスマス例会の送迎バスの時間は、後日決まり次第メールさせていただきます。

私のロータリーあれこれ



森崎正治会員

先日の公式訪問で上田ガバナーは、「入会して数年で退会された方の中には、ロータリーの事をあまり教えてもらっていないという意見が多かった」という話をされました。

わがクラブでも、最近ロータリーについて話される卓話が少なくなったように思います。

そこで、今日は私のロータリー遍歴を中心にロータリーの話をしてもらいます。

広島空港ロータリークラブが出来ましたのは、30年前の1994年4月ですが、私はその創立時からメンバーになっています。いわゆる、チャーターメンバーと呼ばれるものです。私は現在74歳になりますので、その時はまだ若く44歳でした。

発足時は31名の会員でした。初代会長は天野茂彦さん(歯科医)で、後にわがクラブから初のガバナー補佐になっておられます。

皆様の中には、先輩に強引に引っ張りこまれたという方もおられるでしょう。特にJC関係とか取引先関係とかでは、絆が強く断れなかったという方が多いと思います。

私の場合は、ライオンズクラブからもお誘いを受けていたのですが、ロータリークラブがより魅力的に思えて、こちらに入会させて頂きました。

最初の頃は重要な役職に就くこともなく、気楽にロータリー生活を送っていました。

クラブも出来たばかりで、皆が新人みたいなものですから難しいことを言う人もいません。仲間も楽しい方達ばかりで、和気あいあいとロータリーを楽しんでおりました。

それが10年も経ちます(2004年)と、私にも会長の役目が回って来ました。

さあ大変です。幹事の経験もなくいきなり会長ですので、ロータリーの知識やノウハウに乏しく、戸惑いばかりです。しかも、幹事予定者が年度開始前に転勤で退会され、急遽熊谷さんに幹事をお

願いするといった事もあって最初からてんやわんやでした。

会長として苦労したのは、会長時間に話す原稿の作成です。毎週のネタ集めが大変でした。良い思い出は、松本空港ロータリークラブ主催の空港フォーラムに夫婦で参加し、あこがれの上高地を案内してもらったことです。

私の会長時代のガバナー補佐は三原ロータリークラブの中間隆雄さん(調味料製造)でしたが、中間さんには大変お世話になりました。各クラブの会長・幹事に対して、細かい配慮・優しい指導をして下さり、ガバナー補佐ってこんなに気配りをしないとイケないのかと感心して見ておりました。その頃は自分がガバナー補佐になることは無いと信じており、ガバナー補佐は遠い存在だったので、

クラブ創立20年目(2014年)に広島空港クラブからガバナー補佐を出す時期がやって来ました。

20年目となりますと、ガバナー補佐の人選の中に私の名前も入っています。

会員数も徐々に減って22名になっており、めばしい人が補佐への就任をお断りになるので、ところてん式に私の名前が出てきたのです。

とても務まりませんと一応はお断りしました。ところが、ある方から「ガバナー補佐を出せないようなクラブではクラブの意味をなさない。貴重な体験もできるはずだから是非やりなさい」と強く言われました。

それで、不安はあるけどとにかくやってみようと思なおし、引き受けることとしました。

いざガバナー補佐としての活動が始まると勉強することが多いのに苦労しました。さらに当時は、RLI(ロータリー・リーダーシップ研究会)で進行役をガバナー補佐がするという役目があり大きな負担を感じました。

しかし途中から気づいたことは、同期のガバナー補佐の多くが同じような不安を持っているということです。何回か会議やRLIでお会いするうちに、一緒に頑張りましょうという一体感が出来ていました。

任期中4回のクラブ訪問が課されていますが、大きいクラブを訪問すると人数の多さに圧倒され、最初の頃は大変緊張しました。特に公式訪問の2週間前には、ガバナー補佐としてクラブを訪問し、RI会長の方針などについて約30分卓話をします。大勢の方に30分も話を聞いてもらおうと思うと、大変なプレッシャーを感じたものでした。

しかし、各クラブでガバナー補佐と呼ばれ歓迎

してもらっていると、ガバナー補佐としての自信が出来てくるもので、あまり気おくれしないで訪問ができるようになりました。

大変ではありましたが、やり終えた時はガバナー補佐をやってよかったなあと思いました。

そして、もう大きな役職は無いだろうと安心しておりました。

ところが今年になって、再び広島空港クラブから次年度ガバナー補佐を推薦する年がやって来ました。ロータリーには「はい」と言って素直に役職を受けなければいけないという不文律があるはずですが、どなたもお断りになります。最後のターゲットが、二度目はないと安心している私になったのです。誰かが受けなければいけないと思い、結局は引き受けることを決めました。

日本のロータリーは34の地区に分けられています。この地区を指導・監督する指導者がガバナーです。日本には34人のガバナーがおられます。

我々の所属する2710地区は広島県と山口県を管轄範囲としております。

この2710地区をさらに細かく分けると12グループに分かれます。私達のグループはグループ9と言われ、今は6クラブの構成です。尾道・尾道東・因島・三原・広島空港・竹原の6クラブです。竹原クラブさんが今年で解散されますので、来年から5クラブの構成となります。

2710地区では、ガバナー補佐を各クラブが持ち回り制で順番に出しておられます。

三好さんが他クラブの説得に努力されたので、今後グループ9においては順番が変更となりました。大きいクラブ(尾道・尾道東・三原)がガバナー

補佐を2回出したら、小さいクラブ(因島・広島空港)が1回出すという順番制になります。

さて、ロータリーでは五大奉仕といって、クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕の五つがあります。

そのうち、職業奉仕はロータリーの根幹と言われる重要な理念ですが、その意味を本当に理解するのは難しいです。職業奉仕とは、「自分の利益を優先するのではなく、自らの職業を通じて社会に奉仕することによって、その見返りとして適正な利益が得られることを説いた考え方」だと言われています。

ただ、自分の職業が「奉仕」と呼べるほどのことをしているだろうかと疑問に思う方もおられます。

「奉仕」と訳された言語は英語では「service(サービス)」です。「service(サービス)」を「奉仕」と訳されたので、分かりにくくなっているようです。

「service(サービス)」を「貢献」と訳せば、意味が分かりやすいです。

貢献とはひとの役に立つことをするという意味です。

職業奉仕は、職業を通じて社会に貢献していくことと理解すれば、誰でも分かりやすいのではないのでしょうか。

ロータリーでは、職業奉仕という考え方に重きを置いています。

つまり、自分の職業を通じて社会に貢献するという意図を持って事業を営むことを奨励しているのです。

以上で本日の卓話を終わります。